

＜防災備蓄品を使用した訓練について＞

災害発生時に利用する各種防災備蓄品については、須郷台公園内にある倉庫に保管してあります。これらの棚卸しを5月に行うとともに、普段あまり使っていない設備について、訓練を兼ねて作動テスト等を順次行っております。

6月5日に今年度防火防災部役員・協力委員・サポーター（担当班長）の8名により、「レスキューテント」設営訓練、「発電機」、「照明灯」などの作動テストを行いましたので、結果を報告いたします。

（1）レスキューテント設営

昨年度「町の防災活動補助金」（泉区役所）を利用して、風雨にもある程度耐えられる大型のテントを購入いたしました。このテントの設営訓練を須郷台公園で行い、使い勝手などを確認致しました。



（写真）
訓練の様子

（2）発電機等の作動確認

小型の発電機2台、照明灯などについて起動テストを行い、正常に動くことを確認しました。また、後日メンテナンス方法について、泉区防災ライセンスリーダー連絡会の三谷会長に指導を仰ぎました。

現在の発電機はガソリンを燃料としているためメンテに手がかかることもあり、カセットボンベ式の発電機の購入も検討することになりました。

（3）ベンチ下コンロの確認

公園の北東側にあるベンチを外し、コンロの組み立てを確認。マイナスドライバーでも開きますが、解錠専用ジグを備蓄庫内の左側壁に吊り下げておくことにしました。

（4）今後

「非常時を想定したリアカーでの運搬訓練」「スタンドパイプを使用した消火訓練」などを検討する予定です。

以上